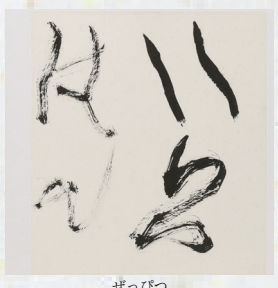




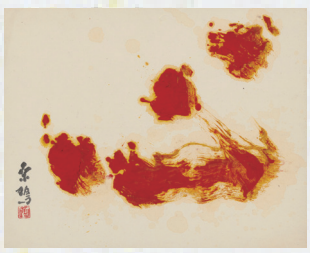
前衛書道のパイオニア 上田桑鳩

問(市)文化・スポーツ課 文化芸術係

日本経済新聞の題字を手がけたことでも知られる吉川町出身の書道家上田桑鳩(1899〜1968年)。きれいな字を書くことにこだわらず墨のかすれや空間をうまく使って書くなど前衛書道の先駆者としてさまざまな作品を残しました。今回は上田桑鳩の人物像や関連する企画展について紹介します。



ぜっぴつ 絶筆



こころ 心



じゃくしょう 叙照



すえざら 陶皿

書道家森川和謙さんに伺いました

私は吉川高校に書道教員として着任し、「みなぎの書道展」の創設などで上田桑鳩に接してきました。

桑鳩さんは書道の古典研究を基礎として、表現の自由を求め、時代の変化や書道以外の芸術を取り入れながら現代書(前衛書道)と向き合った人物です。桑鳩さんの作品は、どんな思いで書いたのか、見る人により異なるとらえ方ができることが魅力の一つだと思います。今年度、お孫さんから桑鳩さんの作品や愛用されていた机などが市に寄贈されました。10月から堀光美術館で行われ



書道家 森川和謙さん

る上田桑鳩展(下記)では、日展(日本美術展覧会)などに出品した代表作や迫力のある大型の作品を中心に、桑鳩さんの生涯を貫く叫びの書が一堂に展示されています。作品に書かれた言葉の面白さにも注目してほしいです。文字を書く行為は、美しく書くことがすべてではなく、気持ちを表現することもできます。日常で文字を書く機会が減ってきている今だからこそ、桑鳩さんの表現のすばらしさに触れてもらいたいと思います。

堀光美術館開館40周年記念特別企画 郷土の書家 上田桑鳩展 ~上田家寄贈作品から~

回 前期：10月30日(日)まで 後期：11月5日(土)~27日(日)
午前10時~午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休 10月3日、11日、17日、24日、11月7日、14日、21日、24日

内 上田桑鳩氏の孫から寄贈いただいた作品や筆などの愛用品を展示

場・問 堀光美術館 ☎82-9945

郷土の書家
上田桑鳩展
~上田家寄贈作品から~

堀光美術館開館40周年記念特別企画

令和4年 前期 10/1(土)~30(日) 10:00~17:00
令和4年 後期 11/5(土)~27(日) 10:00~17:00

三木市立堀光美術館

- 特別講演会 「桑鳩先生の人と書」
- 回 10月9日(日) 午後2時~3時30分
- 講 牛丸好一さん(飛雲会会長)
- 場 みぎ歴史資料館 3階講座室
- 問(市)文化・スポーツ課 文化芸術係

- ミニ講演会①桑鳩先生とみなぎの書道展②桑鳩先生ときらきら書道
- 回 11月13日(日) 午後2時~3時
- 講 ①森川和謙さん(書道家)②藤原常貴さん(きらきら書道指導者)
- 場 みぎ歴史資料館 3階講座室
- 問(市)文化・スポーツ課 文化芸術係